

せいしんがい報

2014年1月1日 第99号

注目記事

- ◆1～2ページ◆ 新年のごあいさつ
- ◆3ページ◆ 第2ちゃーむ開所あいさつ

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 8 9-3 3 3 3 ㊟(0246) 8 9-3 3 3 4

グループホーム・ケアホーム レジデンスなごそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市小名浜岡小名4-3-1
☎(0246) 3 8-3 5 2 0 ㊟(0246) 3 8-3 5 2 1

障がい者支援施設ふじみの園 ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 8 9-3 4 0 0 ㊟(0246) 8 9-3 4 5 4

虹のかけはし
〒971-8101 福島県いわき市小名浜丹波沼61-1
☎(0246) 7 3-0 1 1 1 ㊟(0246) 7 3-0 1 1 2

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 7 3-2 0 7 7 ㊟(0246) 7 3-2 0 7 8

手打ちうどん 天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎・㊟(0246) 7 7-2 0 3 3

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 6 5-5 7 0 0 ㊟(0246) 6 5-5 7 0 0

障害児通所支援ちゃーむ・地域生活支援事業ちゃーむ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 7 3-2 0 3 3 ㊟(0246) 7 3-2 0 3 4

障害児通所支援第2ちゃーむ
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 8 4-6 8 8 2 ㊟(0246) 8 4-6 8 8 3

今年、どんな年になるのか 社会福祉法人 誠心会 理事長 松崎 有一

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年中は、多くの人に支えられ無事新しい年を迎えられたことに感謝申し上げます。

昨年は、大きな出来事があり大変な一年でした。世界では、中国が防空識別圏設定、無人探査機の月面着陸成功、大気汚染深刻化、治安もゆらいだ。

アメリカにおいては、通信防受などの表面化やCIA職員の亡命、新駐日大使にキャロライン・ケネディ氏が就任した。

フィリピンでは、台風30号で甚大な被害があり、多数の犠牲者がた。

日本においては、参議院選挙で自民圧勝し、政権が安定してきた。又、「アベノミクス」で円安株高と景気がすこし回復基調になった。一方、消費税引き上げで、今年4月より8パーセントとなる。さらに、2020年の東京五輪開催決定など明るい話題もあった。

いわき市では、市長選挙があり新市長の誕生や人材不足、材料不足等による災害復興住宅建設の遅れにより仮設住宅での生

活から抜け出すことが出来ない多くの家族の方々も存在していることも忘れてはならない。

また、本市では、第4次障害者計画が策定され本年2月頃、市長に答申する予定となっている。

障害福祉領域においては、日本も障害者権利条約が承認され、政府は批准手続きに入る。権利条約は2006年に国連で採択された。「障害者に関することを障害者抜きにきめない」という姿勢で世界各国の政府団で議論し条文を作った経緯がある。政府は、障害者制度改革に取り組み、障害者基本法の改正、障害者差別解消法の制定など、条約に沿うように見直してきた。

さらに、①重度訪問介護の対象拡大②ケアホームとグループホームの一元化③地域における居住支援のあり方④地域移行支援の対象拡大⑤障害支援区分のスタートなどの制度改革が本格化してきております。

このような改革の中、多くの方々のご指導を受けながら役職員一丸となり難極を乗り越えていきたいと思っておりますので今年もよろしくお願いいたします。

年頭の挨拶

救護施設やしおみ荘 施設長 紺野 健一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、救護施設の中間施設としての機能における利用者の地域移行及び高齢者を対象とした他施設への移行を深く考えさせられた年でありました。

全国の救護施設が取り組む生活困窮者支援として、従前から法制度化されている居宅生活訓練事業を主とした入所者の地域生活移行等を、平成27年度まで100%実施するとの目標達成値が全国救護施設協議会にて採択されました。

施設機能強化推進の特別事業である居宅生活訓練事業の目的としては、入所者が円滑に居宅生活に移行できるようにするため、施設においてアパート、借家等の訓練用住居を確保し、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行い居宅生活への移行支援をするものです。

この事業を展開することで、通所事業にもつながり波状効果も出てくると考えられます。

救護施設は、永年積み重ねてきたスキルを生活困窮者支援に役立てることで施設または社会福祉法人としての存在意義を示していくことが、地域及び社会貢献にも結びつくことになり、社会的要請

にもなっております。

また、景気の先行きが不透明にて、生活保護受給者増加傾向が継続していることで生活保護費の減額見直し、不正受給の罰則強化、扶養義務者への援助困難理由説明義務、医療扶助の適正化における後発医薬品の使用促進等が法案成立しており実施されています。

救護施設への入所者生活費等も減額対象であり、今後国の財政面からも厳しい要請が考えられます。

これらのことから、我々救護施設が地域生活移行业業未実施を踏まえ、今後積極的に取り組むことで、救護施設の適正事業運営を図ってまいりたいと考えております。

事業実施には、地域の理解、行政等関係機関との連携強化が必要であり、地域における借家確保の困難性等、地域事情も克服しなければならないが救護施設の持つ施設間の最後のよりどころを使命とし邁進していくことを常に意識していきたいと思っております。

今年は、事業展開の変革期としてとらえておりますので、これまで以上の地域等の皆様のご協力、ご理解をお願い申し上げます。

2014年 新年のごあいさつ

就労継続支援B型 虹のかけはし

管理者 永沼 憲一

利用者・ご家族の皆様、そして地域の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、昨年は各事業所の運営に関しまして多大なご協力をいただき、おかげさまをもちまして、虹のかけはし3事業所とも無事に新たな年を迎えることが出来たことを深く感謝申し上げます。

福祉制度も法人内の体制も、様々な展開があり、更に今後の変化も予測されるころではありますが、いつの時も互いに連携をとりながら、利用者様、そして地域の皆様に少しでも喜んで頂けるような事業所にしてゆきたいと考えておりますので、今年も一年、よろしくご指導、ご協力のほどお願いいたします。

居宅介護・地域生活支援・
移動支援・行動援護・同行援護・
重度訪問介護

ヘルパーステーション あくていぶ

管理者 鈴木 美智

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、大変お世話になり有難うございました。

輝かしき新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

今年も、皆様ご指導ご鞭撻の程、よろしくお祈り申し上げます。

障がい児通所支援 ちゃーむ

管理者 千葉 彩織

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新たに第2 ちゃーむが加わりますますパワーアップし、新年を迎えることが出来ました。地域の皆様に親しまれる、子供達にとって居心地の良い安心できる場所を提供できる施設を目指してまいりますので、一層のお力添えをお願いいたします。

子供達が困難に立ち向かい元気にたくましく進んでいける事を信じて、そんな子供達に負けないよう職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

障がい児通所支援 第2 ちゃーむ

管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。今年も利用者の皆様、地域の皆様に愛され支えられて新しい年を迎えることができたことを心から嬉しく思います。

昨年は、小名浜のちゃーむから平成25年11月1日より内郷に開所致しました第2 ちゃーむへ異動になり、新たな出会いと新たなスタートの年でした。また、日々の療育、家族の協力、子ども自身の頑張りで子どもたちの成長を感じることができた一年でした。

今年も、今までの経験や知識を活かし子供たちの個性や特性を尊重しながら、伸び伸びと過ごせる環境作りをしていきたいと思っております。また保護者様のご期待に添えるよう職員一同サービスの向上に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

今年も皆様が、健康に恵まれた楽しい一年であるよう心よりお祈り申し上げます。

共同生活援助・共同生活介護 グループホーム・ケアホーム

管理者 小野 るみ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

早いもので、東日本大震災からまもなく3年経とうとしています。声高々に聞かれた「復興」という言葉。目に見える肌で感じられる復興を願いながら、今年も利用者が元気に楽しく生活できますよう利用者の主体性を尊重し、支援員・世話人が一丸となって支援させていただき所存でございますので、変わらぬご理解、ご厚情のほどを宜しくお祈り申し上げます。

指定特定相談支援・指定障害児相談支援・地域生活支援 せんとらる

管理者 渡辺 誠二郎

新年あけましておめでとうございます。一昨年より勿来から小名浜に事務所を移転し、小名浜地区の相談支援事業所として定着してきております。多くの方からの相談依頼があり、よりよい相談支援が行えるよう職員一同日々研鑽に努めております。

障がいをお持ちの方、そのご家族からの相談の内容は多岐にわたり、きめ細かな相談支援が出来る様、昨年から相談支援専門員3名で相談の対応に従事しております。今後とも満足していただけるような相談支援が行えるよう取り組んでいきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願い致します。

第2チャーむ開所あいさつ

管理者 小宅 幸恵



平成25年11月1日より、障害児通所支援・第2チャーむを開設しました。多くの関係者の皆様のご協力のご理解の賜物であることを痛感し、改めて感謝申し上げます。平成15年8月に小名浜チャーむが開所した頃は、支援費制度で社会認知も十分ではなく契約者数名でのスタートでした。その後、障害者自立支援法から児童福祉法となり契約支給量の増加や新規の契約者の増加が見込まれることから、障害児が身近な地域で支援が受けられるよう内郷地区へ第2チャーむを立ち上げる運びとなりました。

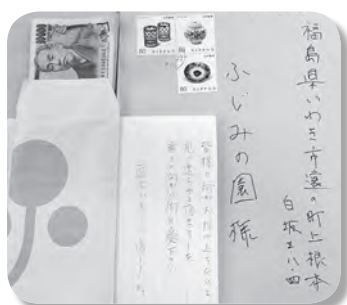
第2チャーむの事業内容はチャーむと同様、児童発達支援と放課後等デイサービスになります。児童発達支援では、未就学児を対象とし、利用

者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう適切かつ効果的な指導訓練を行います。放課後等デイサービスは、就学児を対象とし、利用者が生活能力向上のために必要な訓練を行い及び社会との交流が図れることができるよう適切かつ効果的な指導訓練を行います。

職員一同、療育・相談の充実を図るとともに、報告・連絡を密にし要望やニーズを受け止め日常の支援に反映できるよう努力してまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

あたたかな贈り物 (50万円寄付)

ふじみの園



11月14日(木)、ふじみの園に大きな封筒が届きました。差出人の名前は書かれておらず、いわき市内の消印が押されていました。封筒の中には「皆様の何かお役に立ちたいと思い送らせて頂きました。寒さに向かい御自愛下さい。匿名で送らせて頂きました」と書かれた手紙と共に、現金50万円が同封されていました。ふじみの園には平成23年12月にも「一市民」を名乗る人物

から現金50万円が贈られています。

理事長は「施設に理解をしてもらった人からかもしれない。宛名の筆跡が前回の人と似ているような気がする。利用者のために有効に活用したい」と感謝の気持ちを述べていました。突然の贈り物に驚きもありましたが、心温まる贈り物を送って下さり、本当にありがとうございました。

第22回ふじみの森フェスティバル

ふじみの園

9月28日(土)、グラウンドにて第22回ふじみの森フェスティバルが開催されました。晴天の中オープニングを飾ったのは当園利用者によるダンス。YMCAの音楽に合わせて皆元気いっぱい踊りを披露していました。その後には続く湯本高校ハワイアンガールズによるフラダンスショー、かわいいフラガールに会場はメロメロでした。そして菊池彰夫さんによる歌謡ショーでは、菊池さんの素敵な歌声に惹かれステージに上がってコーラス隊になってしまった方が数名いらっしゃいました。フェス

ティバルのとりを飾るのはお馴染み志摩幸子さん。透き通る歌声で会場を盛り上げて下さいました。今年はいわき市観光大使見習いのフラおじさんが来場し、ゲームコーナーには新しくコイン落としが設置され、一喜一憂しながら楽しんでいらっしゃる様子でした。

この度はお忙しい中ご来場いただきました来賓の方々、暑い中ボランティアで協力して下さいました皆様や地域の皆様及び協賛頂きました方々にこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

一泊旅行 ～世界文化遺産の富士山へ～

やしおみ荘

10月15日(火)～16日(水)、関東方面へ一泊旅行に行ってきました。当日は台風16号が直撃してしまい、天候には恵まれませんでしたが、なんとか事故等もなく、無事に帰ってくることができました。

旅程では二日目に山中湖の水陸両用バスになる予定でしたが、台風の影響で運航できないとの事で、急遽一日目に乗れるように計らって頂きました。このバスは、KABAちゃん号といい、カバの形をしていました。陸から水中へ入る瞬間を皆で体感することができました。しかし、あいにくの天気ですっかりの山中湖の風景や富士山は雨で全く見る事ができませんでした。二日目は、何とか天候も落ち着き、雲間からやっと富士山を少しだけ見る事ができ、安心しました。

また、旅行の楽しみといえば、その土地ならではの美味しい食べ物ですが、山梨県はほうとうが有名ということもあり、熱々の出来立てを頂き、大満足でした。

世界文化遺産になっている富士山の伏流水が出る忍野八海を見学したり、猿回し劇場で可愛い猿の芸を見たりと、見どころが盛りだくさんの旅となりました。



日帰り旅行 ～会津方面～

虹のかけはし

9月22日(日)この日は待ちに待った日帰り旅行で会津方面へ出掛けました。

当日は利用者の思いも通じたのか快晴で絶好の旅行日和となりました。今年話題となった「八重の桜」の大河ドラマ館をはじめ、鶴ヶ城会館にての昼食、天守閣見学、会津藩校日新館にて赤べこの絵付け体験を行い、楽しい一日となった

様子でした。移動のバスの中でも暇を持て余すことなくカラオケやDVD鑑賞をし、利用者の皆さんは疲れをみせることなく最後まで大盛り上がりでした。日頃の忙しい作業でたまった疲れも、一気に吹っ飛んでしまった様子でした。来年の旅行も楽しみにまた作業を頑張ると意気込みが聞かれています。



日帰り旅行 ワークセンターしおさい



10月23日(水)利用者9名、職員3名で大洗方面に日帰り旅行に出かけました。

当日は、海賊船の出航予定でしたが、台風の影響もあり、欠航という残念な結果になりました。しかし、お菓子夢工場やめんた

いパークでは工場見学を行い、その場にちなんだゲームやクイズで盛り上がり、試食を楽しむ事が出来ました。参加者全員から「また、行きたいね」と聞かれ、とても楽しめた旅行になりました。

日帰り旅行 ～会津方面～

天真庵

9月27日(金)日帰り旅行を実施しました。お天気も良く旅行日和の一日で、大河ドラマで話題の「八重の桜」一色でした。

大河ドラマ館では、実際に俳優の方々が着た衣装などが飾ってありました。

その後、鶴ヶ城会館に移動し、起き上がり小法師の絵付け体験を行い、個性あふれた小法師が出来上がり、お土産に持ち帰りました。

待ちに待った昼食では、会津名物「わっぱ飯」を完食しました。

おなかいっぱいになったら、ショッピングタイムで両手いっぱいになるくらいのお土産を買って大満足の笑顔が見られました。

最後に五色沼へ行きました。体にハートの模様がいっぱいいるということで、見つけられると幸せになると言われており、みんな必死に探しましたが、見つけることは出来ず時間終了でした…。

全員が無事に帰ってくることが出来て、楽しい旅行になりました。

もちつき

ふじみの園

新年を目前に控えた12月27日(金)、我がふじみの園ではもちつきが行われました。ふかし上がったあつあつのもち米が臼に飛び込むと、ちゃーむの元気な子ども達も駆けつけ、交替で力いっぱいもちをつきました。皆で「よー

いしょ、よーいしょ」の掛け声を合わせれば、杵を振るう腕に力がこもります。昼は美味しいおもちに舌鼓、膨れたお腹は太鼓かもちか。また来年もお腹いっぱい、幸せいっぱいの年であれ、と願うのでありました。



☆☆☆ クリスマス会 ☆☆☆



ふじみの園

12月23日（月）、スパリゾートハワイアンズラピータにて平成25年度クリスマス会が行われました。当日は利用者、保護者、職員を合わせ、85名の参加となりました。

代表者の乾杯で会が始まると、普段はなかなか食べる事の出来ない豪華な料理に皆目を輝かせていました。菊池章夫さんによるライブでは、ステージに上がり歌に合わせて歌い踊る利用者もおり大盛り上がりでした。また、カラオケ大会では利用者の歌声に合わせて客席から拍手が沸き起こりました。最後に職員扮するサンタクロース、トナカイから一人ひとりにプレゼントが渡されると、飛び上がって喜んだり、その場で包装を開け職員や保護者にプレゼントを見せたりと会場は笑顔で満ちており、大満足の会となりました。

やしおみ荘

12月25日（水）、体育館にてクリスマス会を行ないました。利用者は各棟に分かれ出し物を披露し、「きよしのズンドコ節」「いい日旅立ち」「北国の春」「川の流れるように」といった年代が異なる曲を歌って頂きました。知っている曲が流れると手拍子を取りながら口ずさみ、自分が歌う番になると照れながらもマイクを握って歌を歌っていました。

また職員が今年のヒット曲の一つである「恋するフォーチュンクッキー」を踊ると、振り付けを真似る利用者の姿も見られました。

最後は「きよしこの夜」「ジングル

ベル」を全員で歌い、食堂でクリスマスケーキを頂きました。



健康ウォーキング ～焼き芋ホクホク～ ふじみの園



11月8日（金）、天気に恵まれ晴天の下、健康ウォーキングが行われました。遠野の自然を感じながら一人ひとりが目的地を目指しました。目的地へ向かうまでは足取りが軽かった方も、帰り道は足取りが重くなり弱音を吐く方もいましたが、励まし合いながら無事園に到着しました。交流ホームの前庭でおにぎり弁当と豚汁に加え、園で収穫したさつまいもを焼き芋にしてホクホクの焼き芋を頬張りました。

やしおみ荘へいこう

11月20日(水)、27日(水)の2日間、上遠野小学校の生徒が来荘し、やしおみ荘へ行こうを実施しました。

1日目は、施設長による福祉講話を行ない、その後は上遠野小学校の生徒の皆さんから音楽発表のプレゼントを頂きました。寒さに負けず、大きな声で歌ったり、アコーディオンや鉄琴等の楽器を合奏している姿に元気をもらい、利用者も自然と笑みがこぼれ、手拍子を取る姿も見られました。



2日目は、写真フレームを作る班とお茶の作法を学ぶ班に分かれ、それぞれ交流を図りました。

やしおみ荘

写真フレームづくりでは、飾りつけに試行錯誤しながらも協力しながら進めることができ、素敵な作品を完成する事が出来ました。お茶では、細かい作法にはじめは戸惑っている姿も見られましたが、和の心に触れ、楽しみながらお茶を点てていました。



今回参加した生徒の皆さんから、「利用者に対する見方が変わった。」「楽しかった。」「お茶が美味しかった。」等の感想が聞かれました。今回体験したことを今後に生かしてもらいたいと思いました。

全国救護施設研究協議大会に参加して

やしおみ荘 ケースワーカー 三浦 勇紀・小熊 美穂・大野 逸美
看護師 榎田 葉子

10月3日(木)～4日(金)、兵庫県神戸市にて全国救護施設研究協議大会が開催されました。全国から約600名が参加し、「救護施設が進める生活困窮者支援」をテーマに全大会・分科会が行われ、講演等の中では生活保護の現状や今後の生活困窮者等の支援について話がありました。生活困窮者等支援に向けた国の動きとして、自立促進支援モデル事業の実施箇所を大幅に拡充し、子どもへの貧困対策支援の充実、地域生活定着促進事業の拡充を図る等、より一層貧困の連鎖の予

防や地域生活への移行に向けて支援体制を整備・強化していくとの内容でした。

現在、非婚率の上昇や人間関係の疲弊といった戦後とは異なる社会問題が背景となり、経済的に孤立し、生活困窮につながることも多くなってきている為、救護施設の在り方・地域生活支援の重要性を改めて考える事が出来ました。

今回学んだことを今後の支援に活かし、支援の幅を広げていけるよう努めていきたいと思ひます。

寄付を頂いた方

佐藤理容所 様

これからの予定

やしおみ荘

1月
◎初釜 8日
◎新年会 22日
2月
◎園児との交流会
◎節分
◎社会性自立支援
3月
◎ビデオ鑑賞会
◎ひなまつり

ふじみの園

1月
◎新年会
2月
◎豆まき

ワークセンターしおさい

1月
◎カラオケ大会
◎かしま荘朝市
2月

◎かしま荘朝市

虹のかけはし

1月
◎新年会
2月
◎カラオケ大会

児童デイサービスチャーむ

1月
◎新年会・誕生会

2月

◎豆まき

せんとらる

3月
◎せんとらる主催講演会

編集後記

明けましておめでとうございます。今年はソチオリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップと世界的なスポーツイベントが開催される年です。オリンピックではフィギュアスケートやスキージャンプなど日本人選手のメダル獲得が期待され

ます。また、ワールドカップでも日本代表の活躍が期待されます。国際情勢が何かと不安定な昨今、スポーツの世界には「政治」を持ち込まず、純粋にお互いを称え合うフェアプレーで私たちに多くの感動を与えて欲しいものです。そして、日本人選手はうまかったなと世界中の人々から言われることを期待しています。午年だけに。